

第4会大会が去る12月5日メルパルク熊本大ホールで開催されました。県下9ブロックの代表による発表が行われ、行政を頼らず自分達の力で取り組んだ夏、冬の俵山でのイベント「俵山火祭り」「冬あかり」地域に住んでいる私達が地域を支えていかなければという強い思い。阿蘇ブロック代表西原村商工会の女性部に最優秀賞が贈られました。地域がある限り、女性部がある限りそこに大きな夢がある感動の連続でした。

引き続き、タクシードライバーとして女性初の運輸大臣賞を受賞された東京個人タクシー大洋協会会長、青野輝子氏の講演。「一番貧乏な時に、そこからどうやって打開していくか、それが人間の知恵。20歳を過ぎたら自分が作る顔。切磋たくましく生きて来たやさしい顔を作って欲しい。人それぞれにドラマがあって、人それぞれに自分のみちを歩いているのだから。一期一会の出会いを大切に!!」と大ホールいっぱいをうめつくした女性達の中を所せましと歩きながらの講演。そのエネルギッシュな女性のパワーを心と手の中にしっかりと受け止めて来ました。

「古き良さと悪しき新しさ」～女性部新年茶話会～

2004年も激動の中で幕を開け、庁舎建設、町村合併と変わりつつある町の中で、私達女性部がこれから取り組んでいかなければならないことを模索しながら、今年は、肥後銀行甲佐支店、相場喜久郎支店長を講師にお招きして、1月22日女性部新年茶話会を開催いたしました。これからは女性が地域を支える時代、女性の明るい笑顔で大型店にはない魅力ある店づくりを、支店長にも色々とお力添えを賜りながら、私達の町づくりをしていきましょう。



レクレーション大会

役員会でレクレーション大会の出し物の話し合いをしました。今年こそはイメージを変えましょうという部長の意見をはねのけ、他町村の期待に応えねばと、恒例のお笑い路線になり、題目は「処女痔のタヌキ林」に決定しました。

これだけでもどんな風か想像してもらえると、笑ってしまいます。衣裳づくりはそれぞれが考えました。ソックスのオツパイ、尻尾の中身、？玉の大きさ皆自分だけは可愛いタヌキになろうと真剣でした。振り付けのむずかしいのは覚えられないからと、超簡単なのですがなかなかそろわない、でもそれが甲佐町女性部の持ち味と気にしません。当日もやっぱり皆バラバラ、あんなに時間をかけてメイクしたのに、10分もかからず終了しました。でも会場は大爆笑、私達は大満足。今年初参加の由美子さん、見とくより出たほうがおもしろかる。



「緑川荘慰問」

あわただしかった3月の、そして今年度最後の活動となる緑川荘慰問を桜満開の24日に実施しました。参加者11名で、日本舞踊、カラオケ、タヌキの出し物と盛り沢山です。和服姿の白木さん、中村さんは(いいな～)と横目で見つつ、おちゃらけ組のメンバーはタヌキに化けます。小道具忘れても大丈夫。ちゃんと、座長山下の袋の中に何かかんやと入っています。まるでどらえもんのポケットです。

歌が終わりいよいよ出番、実をいうとメルパルクより緊張しています。なかなか笑いが返らないからです。考えた座長、今回は客席を通って舞台上上がる事にしました。これが大成功し昨年よりうけて、通りすがりにさわたりさわられたり後はどうにでもなれでおどります。めすタヌキのお色気に、男性陣の鼻の下は伸びきったのではないのでしょうか。のりにのった私達は最後に盆踊りまで披露しました。毎回、楽しんでもらえただろうかと心配しながら帰ります。いろんなアイデアがあったら教えてください。皆さんご協力ありがとうございました。



「楽しかった一日研修in人吉」

3月22日、朝からあいにくの雨、マイクロバスの中は、楽しい話題で盛り上がっていました。女性部一行は、「ひまわり亭」へ到着、そこを経営されている、本田節さんの前向きなプラス思考の力強い話を、皆感動しながら聞きました。節さんの「ひまわりグループ」は、60オスタート、死ぬまで現役と、地元の主婦やお年寄りが仲間だそうです。講演の後、季節の野菜を使ったおいしい昼食を食べ、元気を頂いて「ひまわり亭」を後にしました。その後、おひな様やいろんなコレクションが展示してある福助館というところに行き、焼酎蔵「織月」に寄りいろんな焼酎を試飲し、ほろ酔い気分。その後、新八代駅で新幹線を見学して帰路に、日頃仕事やお金のやりくりで頭を痛めているのから解放された楽しい一日でした。



「一日先生」～甲佐小へ石けんづくり講習～

「みんなが毎日通っている町を流れている川。おばちゃん達はその川で泳ぎを覚え、メダカをすくい、砂にもぐってどじょうををおいかけたのよ。」えっ！本当？甲佐小学校の6年生。そんなきれいな川を取り戻したい。

そんなきれいな川を子供達に残してやりたい。子供達の輝く瞳を見つめながら、西村さんといっしょに、廃油を使った地球にやさしい手づくり石けんの講習をして来ました。石けん工房で実際に石けんづくり「どうして廃油が石けんになるの?」「苛性ソーダ」がどうして地球にやさしい石けんに?」子供達の質問に右往左往しながら、楽しい石けんづくりの講習でした。2月23日、風のつめたい一日でした。



青・年・部・初・市・活・動

みなさんこんにちは！青年部のみなさん元気ですか～・・・。

ハイ！今年の初市は、青年部初めての試み、餅つき&餅の販売を行いました。晴天にも恵まれ青い青い空のもと運動不足の体に鞭打ったかいもあり全部で200パック程の餅、あっというまに売切れてしまいました。買っていただきましたお客様、ならびに餅つきの御指導及び餅丸めを手伝っていただきました商工会女性部の皆様本当に有り難うございました。青年部だけでは、あそこまで出来なかったと思います。来年もよろしくどうぞ。

2日目は、第2回目になります大縄跳び大会を開催しました。平日の夕方にもかかわらずたくさんの小学校からたくさんのチームに参加を頂き誠にありがとうございました。おっちゃんたちはたいがなうれしかったばい。

優勝は甲佐小学校から参加のドラミちゃんチーム、準優勝は、龍野小学校からの参加の龍野女子チームでした。両チームの皆さん、おめでとうございました。惜しくもやぶれたチームの皆さん来年の大会に向かって練習をがんばりましょう。

以上、商工会青年部からでした。



■大縄跳び大会で優勝した
甲佐小学校「ドレミちゃん」チーム

女性部紹介

店／ショッピングパーク彩甲 酒の西長
氏名／西村 悦子
住所／甲佐町岩下2
好きな言葉／誠 実
趣味／エアロビクス・社交ダンス
部長歴 平成元年～平成9年迄



青年部紹介

氏名／堀田 陽平
生年月日／昭和53年2月28日生まれ
28才
コメント／「よろシコ！」



商工会の機能強化へ向けて人事権の一元化が行われる

本件に関しましては、直接的には会員の皆様へ影響を及ぼすものではありませんが、県下商工会の動向・合併問題などを絡めご報告します。

平成16年度4月1日より商工会の補助対象職員（指導員・補助員・記帳専任職員）の人事権が県連に一元化されます。一元化の方法としては、現在各商工会に在職している補助対象職員を県連合会へ転籍、そのうえで各商工会に出向させるというもの。厳しい経営状況の中、高度化、専門化する規模事業者のニーズや経営革新等に商工会が的確に対応するため、職員の資質と向上と人材の活性化が必要であること。また、市町村合併が本格化するに伴い、商工会の合併も促進される。商工会が合併すると、現在の職員の設置基準では、職員が激減し、サービスの低下や指導体制の弱体化が懸念されること。人事権の一元化は、このような商工会の再編などに迅速に対応できる体制を目指すものであります。

また、本件は平成12年、全国会長会議において人事交流円滑化を図るため、補助対象職員に限って、県連合会への帰属化が決議されています。

速報

商工会女性部 竹炭石鹸づくり NHK実況中継される!!

女性部の竹炭石鹸づくりが、4月6日(火)午後5時50分のNHKTV「いきいき情報ひのくにYOU」に実況中継されました。環境改善に取り組む女性部の活躍が、益々期待されます。



■NHK取材の様子

「商工貯蓄共済」は

「健全経営」に
「事業促進」に
「生活の安定」に

商工会会員の為のき共済制度です。

1つの掛け金で3つの備え

①簡単な手続きで
低利な融資が受けられます。

②確実な
資金貯蓄が出来ます。

③有利で大きな
保障が得られます。

※詳しくは、商工会事務局へお尋ねください。